

会 議 録

会議の名称	第3回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成30年11月6日（火曜日） 午後1時30分から午後4時30分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 第2会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 ■発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p>（1）事業評価</p> <p>（2）その他</p>	
審 議 内 容	
<p>（事務局より欠席者報告）</p> <p>1名の委員が仕事の都合により欠席。</p> <p>（委員長あいさつ）</p> <p>○委員長：次第に沿って（1）事業評価について、まず始めに前回の委員会で評価を保留とした事業や詳細の説明を求めた5つの事業から事務局より説明をお願いします。</p> <p>1番 健康福祉センター改修事業</p> <p>○総務課係長：追加資料として写真を配付した。雨樋が複数箇所、歪んでおり、雨漏りによって室外機が汚れているとのことである。その漏水により壁の腐食があり、室内のクロスが剥がれている。また、門扉の錆及び腐食の塗装をしたいとのことである。予算比較を</p>	

載せているが、①は、空調室外機庇設置工事 37万8千円で内容は、空調室外機防錆処理、門扉補修塗装、壁クロス補修、②は、雨樋改修工事で南北両面行くと 300万円であり、比較すると①が安いいため空調室外機庇設置工事を行うということである。

6番 歯科保健推進事業（子ども）

○総務課係長：小学校でのフッ化物洗口の取組状況について、前回質問があった。実施状況は、平成26年6月から立石小学校をモデル校として開始し、平成28年10月からは市内全小学校、平成29年からは中学校でも行っている。平成30年10月からは幼稚園でも開始したとのことである。申し込み状況は、小学校86%、中学校67%、幼稚園96%である。成果としては、1人あたりのむし歯の本数が平成26年に2.45本だったのが平成29年は1.69本に減ったとのことであるが、フッ化物洗口の効果は2～3年後に現れると言われていることから今後もっと効果が出てくることに期待しているとのことである。今のは小学校での取組であるが、実際の事業については、助成券を配布していたが、利用率が悪いので配布を中止し、対象を300人から1000人に拡大した。8月末現在では、利用率は高くないので今後は周知方法の検討が必要である。

31番 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

○総務課係長：31番の事業で配置している相談支援包括化推進員については、支援する側のコーディネーターが主な業務であるため、市民への周知はしていないが、32番の事業で配置している地域福祉コーディネーターについては、民生児童委員や住民自治協議会などへの周知をしている。市民への広報が充分になされていないことについては、反省の上、その役割について市民へわかりやすく伝え

る方法を検討中であり、来年度に向けて積極的な広報に努めるとのことである。

58番 小規模集落対策事業

○総務課係長：古民家改修の成果はどうだったかという質問があったが、改修した古民家全てに移住者が住んでおり、かなり成果が出ているようである。

76番 活力あふれる園芸産地整備事業（旧次世代を担う園芸産地整備事業）

○総務課係長：補助金交付後の効果については、一例として平成22年度の事業を紹介する。小ねぎのハウス等建設事業で事業費が2億6千万円であり、そのうち国費が2分の1、県費、市費が10分の1で市としては2600万円投入した事業である。成果としては、23年度から売上が9500万円、24年度9600万円、25年度9700万円、その後8000万円に下がった年もあるが、雇用者数も平成23年度は18名だったのが29年度は24名になり事業効果がでてきている。税収入の試算は難しいが、効果は出ていると考える。本年度の事業についても同じように雇用や売上の成果を予想している。

以上が、前回の委員会での質疑等の報告である。

○総務課長：もう一つ補足で不登校の関係。ひまわりは30年度12名の児童生徒が利用している。不登校は15名いるが3名は出席ができていない。山香庁舎でも週に一度やっており、継続していきたいとのこと。義務教育の間はある程度連携できるが義務教育を離れるとその後はお世話できていないというのが実情である。

○委員：義務教育後の連携について今後市のほうで対策はあるの

か。

○総務課長：学校教育課長に聞いたが、今のところまだ具体的に高校との連携はどうするのかという明確な対策はないようである。連携をとるように指示はしているが。

○委員：高校に行ってから不登校になり家に閉じこもっている事例を聞いたことがある。その後、30代までその状態が続いてしまっているようなので、早い段階で手を打っていただけると幸いである。

○総務課長：そうになると学校教育だけの問題ではない。昨年から子ども世代の地域包括支援センターとして健康福祉センターの中にハートペアルームを設置し、家庭内で育児放棄や虐待等があった時に市役所内の関係課や県の児童相談所と連携して解決できるような仕組みができつつある。不登校や引きこもりについても一部署だけではなく全体で連携するこの仕組みを有効に使えればと思う。

○委員：そういう仕組みができれば、そこに相談するように悩んでいる家族にも声かけができる。

○総務課長：将来的には厚生労働省が進めている全世代型の地域包括支援センターを設置できるように現在検討中である。

○委員長：それでは、まず保留の件の評価を決定したい。1番「健康福祉センターの空調室外機庇設置工事」について前回の委員会で保留となっている。今、事務局からの説明があったが意見はないか。

○委員：意見はあるが、比較して安いほうということなので。それでも私の経験から言うと空調室外機はやる意味はないと自分では思っているが、いずれにしても雨樋を改修するよりは庇を作ったほうがよいということなので。

○委員長：他に意見はないか。ないようなのでこの件の評価は継続に決定する。残りは追加説明があったが、前回すでに評価は継続と

している。特に意見がなければこのまま継続という評価にしたいが意見はないか。

○委員：なし。

[評価：事業の継続は妥当である]

(配付資料「平成30年度第3次行政改革大綱実施計画進捗管理シート一覧」「平成30年度事業評価報告書(案)」の説明)

○総務課係長：平成30年度第3次行政改革大綱実施計画進捗管理シートについては、次回の委員会で使用するものである。事前に目を通していただいて次回の委員会に出席をお願いします。平成30年度事業評価報告書(案)については、現在評価していただいている事業評価の報告書案である。ご一読いただいて修正等あれば次回意見をお願いします。

○委員長：次に、事業評価の続きについて事務局より説明をお願いします。

106番 商工会運営支援事業、107番 創業支援事業、108番 企業誘致活動事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

110番 観光振興事業

○委員：今の説明では観光計画がないということだったが、事業を進めるのに計画はあって当たり前だと思うが、全くないのか。

○総務課長：ない。

○委員：そうすると方向性が定まらない。計画がないのであればA4に1枚でもいいので、計画を作り、計画どおりにいかなければ来年度は見直す等、PDCAサイクルで事業をやるべきである。

○総務課長：私もそう思うが、観光だけでなく商工、水産もない。

農林、環境保全にはある。セクションによってないところがあり、何で事業をしているかという予算だけでやっている。行き当たりばったりになって、観光事業もいろいろやっているが光があたり、これからどうしていくのかというところが見えない。冊子でなくても数枚でもいいので観光振興計画を作成し、効果的に予算を投資すべきである。

○委員：継続で2次評価どおりとしてはどうか。もともと対前年度増減の記載をというのは、去年どうだったかという反省をして今年をどうするかという改善をしてほしいという意味の評価である。

○副委員長：観光振興のことだが、今、国民文化祭で杵築は大茶会でお茶に関するいろんなイベントがあってマルシェ等が行われた。今回だけのイベントで終わらせず、これを活かした取組をすれば杵築にも光が当たるのではないかと思うが担当課にはそのような考えはあるのか。

○総務課長：この評価とは別にこの意見も観光にも伝える。

○副委員長：国民文化祭のイベント（大茶会）を活かし、着物レンタルだけでなく着物やお茶やお花など杵築市独自の文化を発信する工夫をしていくべきである。

○委員：観光だけでなく他のところの計画もぜひ作ってほしい。方針がない事業計画は不思議だし、計画がなく事業をやってみたらこうだったとういうのはありえない。

〔評価：観光振興計画を作成し、効果的に予算を投資すべきである。〕

113 番 企業立地支援事業

〔質疑、意見なし〕

〔評価：事業の継続は妥当である。〕

114 番 地域商社設立・創業支援事業

○委員：会社の事業計画を作っているはずなのでこれから3年間は計画とそれに対して今年度の実績はどうだったか、売上実績が未達か可達か自分たちで評価して伸ばすところ、見直すところを判断すると思うので、次回以降は目標と売上を提示してほしい。未達成でも構わないので実績を知りたい。

○総務課長：非常に厳しいと思われる。今年度は市からのマーケティング調査の委託料があり、来年度からはふるさと納税の発送や注文、杵築ブランドの販売流通にも関わる計画があるが、全部市役所の下請けのような事業なので手数料だけで果たして生きていけるのか。独立して商社になれるかは厳しい。3年間は市が支援するが4年、5年目には自立していただかないと思うが。

○委員：そのためにも共有化して認識していたほうがよい。どこかでこの商社がダメかそうでないかを判断しなければならない。最低限商社の責任として実績を提示してもらいたい。

[評価：事業の継続は妥当であるが、売上目標と実績を提示すること。]

115 番 シルバー人材センター助成事業、116 番 休廃止鉱山鉱害防止対策事業、117 番 景観保全事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

118 番 横岳自然公園費

○委員：テレビで旅番組を見ると観光地を回った後にはおいしいものを食べるという流れが多い。横岳には夢のぼりがあるが、そことの連携はあるのか。

○総務課長：夢のぼりは隣にあるが、通常はお客さんが少ないので

需要と供給のバランスがとれずに対応ができない。弁当と宿泊者の食事は対応している。

○委員：お客さんの数からすると経営自体が厳しいということか。

○総務課長：情報発信に力を入れているが、場所的な問題もある。夏場はいいが、特に冬場は寒いので難しい。

○委員長：利用者は市民が多いのか。

○総務課長：市民は一部で市外が多い。夏は避暑地として利用され、テニスコートもあるので学生の合宿でも利用されている。宿泊は市外の方がほとんどである。年に2回のイベントには市民が参加している。

○副委員長：来年の3月にはバイパスができるので、その交通網を活かして利用促進のためのPRをしてはどうか。せっかく大田の自然を体験できる施設なのでもったいない。天体観測もできるので流星群の時などに星を見る企画はどうか。遊具もあり子ども連れには楽しめると思う。

○委員：大田には仏像群もあるのでうまく活かさないか。夢のぼりが開いてないのはさみしい感じがするのでせめて夏の間だけでも地元パートを雇ってオープンしてはどうか。

○総務課係長：前年度の評価は民間委託指定管理を含めた内容の見直しとしていたが、今年度の評価を決めていただきたい。

○委員：前年度のように民間委託指定管理を含めた内容の見直しとすべき。経営なのでいつまでも市が運営する訳にはいかない。すぐには無理でも目標は自立である。利益がでるような方向を描いてほしい。

〔評価：民間委託指定管理を含めた内容の見直し。〕

119番 まちなみ環境整備事業、122番 合併処理浄化槽設置事業、124番 平尾台污水处理場管理事業)

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

125 番 資源ごみ収集処理事業

○副委員長：寝たきりの高齢者を在宅介護している方や赤ちゃんを対象にごみ袋の支給があるが、以前、議会で杵築市は赤ちゃんの誕生祝いにごみ袋をあげているという課長答弁があり、お祝いにごみ袋をあげているわけでないので、認識の徹底を。

○総務課長：資源ごみの収益は本事業や生ごみ処理の費用に充てている。

[評価：事業の継続は妥当である。]

128 番 環境衛生補助事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

130 番 乳・幼児健康診査事業、131 番 妊婦健康診査事業)

○委員：評価は継続でよいが、130番の乳幼児健診と131番の乳児健康診査の内容はどう違うのか。同じなら二重になるが。

○総務課長：130番の乳幼児健診は生まれて4・5か月、1歳半などしばらくたってからの健診であり、131番の乳児は妊娠期から生まれてすぐまでの健康診査であり、別のものである。

○委員：了解した。

[評価：事業の継続は妥当である。]

132 番 育児等保健指導事業、133 番 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業、134 番 未熟児養育医療費給付事業、135 番 母子保健推進員活動事業、136 番 食育教室開催事業、137 番 親

子ふれあい事業、138番 こんにちは赤ちゃん訪問事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

139番 不妊治療費助成事業

○委員：県への負担金は何か。申請は4件で県の負担金は20件とあるが、この内容の違いは何か。

○総務課長：窓口を一本化するために県と市が負担金を出し合って助成している。不妊治療の種類によって市に申請できるものと県に申請するものがあると思うが詳しい内容については担当課に確認し、次回説明する。

[評価：保留]

140番 子どもの心を育む絵本事業

○委員：アンケートによると87%の人が絵本配布が読み聞かせ開始のきっかけとなったとあるので、必要性はあるということだろう。

○委員：読み聞かせは重要だと思う。

○副委員長：今までの図書館があまりにも狭かったので、新図書館になって子ども連れの利用も結構増えているように思う。

○委員：新図書館に漫画を増やすのはどうか。歴史を学ぶのに漫画から入ると子どもの頭の中にはイメージが絵として残り、歴史認識ができるようだ。

○副委員長：新しい図書館がせっかくできたのでPRして利用促進を図るべきである。健診の読み聞かせ時に新図書館のPRも兼ねていただけるとよい。

[評価：事業の継続は妥当である。絵本の読み聞かせ時に新市立図書館のPRをする等、図書館利用促進を図ること。]

141 番 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブの運営事業、
142 番 延長保育促進事業、143 番 地域子育て支援センター事
業、144 番 一時保育促進事業、145 番 子ども医療費助成事業、
146 番 健やか子育て支援事業、147 番 ひとり親家庭医療費助成
事業、148 番 子育て世代包括支援センター管理事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

149 番 杵築中学校改築事業

○副委員長：2次評価にある市役所あげての対応とはどういう意味か。

○総務課長：教育委員会だけが抱えてしまうという事例があった。市長部局も含めて市役所全体で進めていくということである。校舎は今やっているが、これから体育館と武道場、外構工事があるので。

○副委員長：了解した。今は史跡調査も終わって建設を進めている段階か。

○総務課長：今のところはそうである。ただこれから道路の取り付け等もある。

[評価：事業の継続は妥当である。]

152 番 学校給食センター建設事業

○副委員長：県外で給食が民間委託によって美味しくないものになったという報道があった。

○総務課長：大磯町か。特殊な事例だと思うが。民間委託する場合も仕様書があってそれに合う業者に委託する。

○委員：杵築市は給食がおいしいという定評があった。給食が唯一

の栄養源という子どももいるので民間委託したとしても安心安全と栄養バランスは確保してほしい。

○総務課長：当然である。日出町は民間委託している。評判はわからないが継続しているということは問題ないということではないかと思う。国はトップランナー方式で民間でできるものは民間でというのが今の流れである。直営なのか民間委託なのか一度は検討して判断すべきである。

○副委員長：今後は箱モノ施設の維持管理をどうするのが心配である。

○委員：前年度通りの評価で、民間委託の検討を入れてほしい。

[評価：民間委託の検討を。]

153 番 学校教育支援センター事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

154 番 教育立市プラン推進事業

○委員：前年どおりの評価でよい。

○総務課長：学校教育中心になっているが、本来は赤ちゃんから墓場までいろんな段階で学習が重要ではないかという趣旨である。学校教育に偏らないためにも社会教育課が担当したほうがよいと思う。

○委員：趣旨も含めて大賛成である。

[評価：学校教育だけでなく生涯学習の観点も含め、原点に戻り見直すこと。]

155 番 児童・生徒学習状況把握調査事業

○委員：全国調査も県の調査も年に1回なのか。年に2回やっ

るのは杵築市だけか。

○総務課長：杵築だけかはわからない。学年を変えて市独自でやっている。国の場合は小学生と中学生の比較だけなのでその間を市がやっているが、本当にそのやり方がいいのか現場の先生とよく協議し、再検討するようというのが2次評価である。

○委員：現場の先生もこれは必要だと心の底から思っているのだろうか。

○委員：評価する対象がテストの点なので、点数だけでは評価できない部分があると思う。

○委員：基本的には全国調査と県の調査だけでいいのではないかという考えだが、それだけでは足りないところがあり本当に調査が必要で杵築市として独自でやっているというならばいいと思う。ただ漫然とやっているだけならやめたほうがいい。前年度以降に実施時期の見直しはされているようなのでやる意味はあるということだろうけど。効果があるのかどうか、これを行うことで杵築市の大分県内、全国における順位が上がっているのか必要性がわかれば続けてほしいが、そうでなければやめたほうがいい。

○総務課長：これについては、学校教育課に聞き、再度調査する。

〔評価：保留〕

156 番 杵築市教育情報化事業

〔質疑、意見なし〕

〔評価：事業の継続は妥当である。〕

159 番 山浦地区コミュニティセンター整備事業

○委員：コミュニティセンターは市がお金をだして地区に作っているのか。

○総務課長：はい。住民自治協議会が旧小学校区単位で13ある。

学校が閉校になったところから重点的に学校の跡地利用と地区公民館の老朽化問題も含め、地域のコミュニティの拠点施設としてコミュニティセンターを整備していく。

○委員：この金額は全額市が負担しているのか。地区からの負担金はないのか。他の地区からの不公平感はでていないと理解してよいか。

○総務課長：地区からの負担金はなく市が全額負担する。今後も順番に市が負担していくので不公平感はない。ただし、運営についてはそれぞれの自治協議会の力次第である。

[評価：事業の継続は妥当である。]

165 番 スポーツ合宿等補助金事業

○副委員長：1人たった千円でもこんなに来るのか。どういう人が来ているのか。

○総務課係長：実績をみるとわかるが、延べ人数も増えている。1人千円ではあるが、24%の人が補助があるかないかで判断している。大学生や中高生などの合宿に利用され、宿泊することにより食事やお土産の購入など市内消費にもつながっている。

○委員：まず、一企業に隔たることはなくなったということによいか。

○総務課係長：まだ今年の実績は把握していないが割合は減ると思う。

○委員：数字だけでなくプライスレスのもの等波及効果を含めた評価をするべきである。前回は、旅行代理店も一企業、宿泊施設も同じところで、一か所だけが潤うというのは税金なのでよくない印象であったが、それが解消されたのであれば、投資対効果をもて拡大してもよい。

[評価：事業の継続は妥当であるが、波及効果も含めた効果の評価

を行うこと。]

166 番 男女共同参画推進事業

○副委員長：現在の割合は。

○総務課係長：平成29年度末時点では、市の各種委員会等における女性の割合は25.6%となっている。委員改選のタイミングに担当課が意識するかどうかにかかっている。

○副委員長：市役所は女性課長が少ない。敬遠しているのか女性の意気込みが足りないような気がする。やれば勉強になるし、女性の考えが反映されていくのはいいことだと思う。市民目線も変わってくると思うので是非登用してほしい。

[評価：他課が委員会の構成を変更する際等に合議するシステムを。]

167 番 団体営農道保全対策事業 熊野地区、169 番 本町田平線歩道設置事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

171 番 市駅錦江橋線道路改良事業

○委員：錦江橋はいつ開通するのか。橋の本体はできているのにいつまでも通れない。早急に通れるようにしてほしい。使う前に老朽化するのではないか。

○総務課係長：来年度予定だったと思う。予算の都合だと思うが、担当課に意見を伝える。

○委員：橋を渡って市街地に来る時の三差路がわかりにくいので整備してほしい。

[評価：事業の継続は妥当である。]

174 番 県施行土木事業負担金、175 番 橋梁長寿命化修繕事業、
176 番 港湾建設費、178 番 四辻大井手線道路改良事業、178-2
番 鍛冶屋線道路改良工事、178-3 番 北浜線道路改良工事、
178-4 番 平原東線道路改良工事、179 番 平山線道路改良事業、
180 番 鹿倉線道路改良事業、182 番 守江平線道路改良事業、
186 番 立花尾本線道路改良事業、187 番 河川県施行事業負担金
[質疑、意見なし]
[評価：事業の継続は妥当である。]

188 番 コミュニティバス運行事業、189 番 乗合タクシー事業

○委員：費用対効果は合わないかもしれないが、行政なので赤字であつてもやらなければならないことはある。ただ、走っているバスを見ると乗車数が少なくもっと小さなバスでいいのにと思うことがあつた。そういう工夫を含めた費用対効果を検証するべきである。

○総務課係長：今回、山香のバスをワゴン車に変えた。

○委員：そういう内容見直しはどんどんやっていただきたい。むしろそれで本数を増やして欲しいくらいである。

○総務課係長：本数も増やしたようである。

○委員：通学時間帯は利用者が多いと聞いているので大きいバスが必要な時間帯もある。

○委員：病院等民間施設の送迎車との連携はできないか。

○総務課長：今後は小型で低床式の14人乗りと9人乗りになる。山香は11月1日から杵築は実証実験中である。乗合タクシーは廃止する方向になっている。その代わりにバスの停車区間を細かくするようである。

○副委員長：話は変わるが、老人クラブ等の行事でも高齢者が高齢者を送迎することが多く、事故をおこした時には責任問題が発生す

る。高齢者の移動手段の確保は課題である。

[評価：乗車数に応じた車種の選定や新しい視点での方法検討（民間の送迎車との連携）等、より効率的な運用を図ること。]

190 番 過疎バス補助金

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

191 番 鉄道駅舎管理委託事業

○委員：これは、もうやめてはどうか。無人化を避けるために民間委託していると思うが、今、無人の駅は全国的にはたくさんある。これからの杵築市の財政状況からいくと入る余地はないのではないか。継続ではなく見直しという評価だと思う。JRの話では、安全の問題が指摘されていたが現実には無人駅はたくさんあり、機械化を含めていろんな対応がある。無人化に向けた見直しという評価にするべきである。

○委員：山香に1つしかない有人の駅である。大きなイベント時にはたくさんのお客が利用している。エレベーターもなく障がいを持った方が困る。山香の中心地の駅なので有人化を保つべきである。

○委員：気持ちはわかるが、実績としてどんなまちでも今のような方はいるが、そういうまちも無人化という壁を乗り越えている。山香が憎いということではないが、そういう動きに持っていかないと杵築が財政的に苦しい時にしがらみを断ち切れないのではいかと思う。一度は無人化を検討したのか。

○総務課長：検討してないと思う。

○委員：一度は検討して、具体的な問題がやはり解決できないということであればいいが、ありきの前提になっている。人口は4万人でも20年以上無人駅だった鹿児島駅の駅を知っている。車通勤が多

いというのもあるかもしれないが、列車と人口の関係もよくわからない。そういうのをみるとなぜ無人化がいけないのかと率直に思う。継続でいいが、一度は検討すべきである。

[評価：継続は妥当であるが、一度は無人化に向けて検討すべきである。]

194 番 公共下水道事業、195 番 特定環境保全公共下水道事業、
196 番 守江簡易水道配水管整備事業、197 番 配水管整備事業
(老朽管更新)

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

198 番 水道施設第 1 次拡張整備事業

○委員：今の説明にあったケースの検討はもっと早い段階ですべきであった。ただそれは今更言っても意味がないので、今立ち止まったからにはしっかり立ち止まり、どのケースが一番安いのか徹底的に検討してほしい。市民からすれば、このお金は莫大である。

○総務課長：新浄水場ありきであった。そこで土地を買い、道路を作り、何億も使っている。設計を延ばしていよいよ老朽化のタイムリミットになり 1 億の予算をつけ、40 億という積算が出た。担当課、財政課ともにその場所しかなく、改善の余地がないという意識で進めていた。最終的には、改善の余地があるという意識に変わり、改善できるかどうか検討するために立ち止まっている。

○委員：止めたことは立派であるが、逆にこれまでの考え方を猛省して止めた以上はじっくり検討し、コスト削減を考えていただきたい。

[評価：コスト削減のため、じっくりと整備方法を調査検討すること。]

200 番 配水管整備事業（老朽管・石綿管布設替）

○委員：石綿管は今も使っている管なのか。アスベストの問題はないのか。

○総務課長：今も残っている管である。アスベストほどは人体に被害はない。毎年少しずつ予算を取ってやっているが、あと2キロくらい残っている。

○委員：了解した。

[評価：事業の継続は妥当である。]

201 番 杵築地域FTTH化事業

○委員：杵築市内の出来事がよくわかるのでケーブルテレビは毎日見ている。70歳以上の人口も多くケーブルテレビは必要だと思う。

○総務課長：若い人はテレビを見なくなっているが、インターネット環境の整備にも関係するので更新はやむを得ないと思う。

○委員：基本的にはやらざるを得ないと思うが、額が大きいので前年度の評価どおり総事業費の削減を図ってほしい。

[評価：事業の継続は妥当である。総事業費の削減を図ること。]

203 番 杵築市公式ウェブサイト運営事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

204 番 住民自治協議会の支援

○委員：住民自治協議会は、地域によって温度差がある。地域の実情にあった取組ができている地区もあるが他地区に情報が広がっていない。他地域の情報もあつたほうが元気になる地域が増えるので

はないか。自治協のもとはどこで運営していて、活動を指導しているのか。

○総務課長：一番は、住民の方々に運営していただく。指導というよりも困ったことがあれば市が支援できることは支援していく。あくまでも住民自治なので皆さんでアイデアを出し合って活動していくのが基本であるが、コミュニティセンターのようなハード部分は市が支援している。また、均等割と人口割、なおかつ事業をするなら事業割での交付金がある。不満や課題があれば市に相談していただければ、協働のまちづくり課で解決していく。

○副委員長：地域で特色のある活動をしてほしい。自治協議会で運転手を雇って移動支援ができればコミュニティバスの問題も解決できるのではないかと。他市ではそういう事例もある。地域のリーダーのやる気次第で、何でもできるが会長がすぐに替わっていくと活動しにくい面もある。アドバイザーはつくれないか。

○総務課長：積極的な自治協は大分大学のゼミと組んでアンケート調査をし、計画を作成している。向野、山浦、東山香が作っていると思う。計画に基づいて住民主体で事業を進めていって何かあれば市も支援するというやり方である。

○副委員長：積極的にやっているところはいいが、やっていないところが心配である。

○総務課長：市も三段階に分けて支援している。人口規模によって危機意識も違う。協働のまちづくり課には意見を伝える。

【評価：事業の継続は妥当である。】

207 番 学生チャレンジ事業

○委員：本来の主旨と違う実績になっている。事業実績にあがっている事業は別の予算でやるべきである。昨年の評価どおりではないか。本来の目的に出資すること。この予算に該当する事業

がなければ廃止すればいい。

[評価：本来の目的に出資すること。]

208 番 ふるさと杵築応援寄附金（ふるさと納税）の充実

○委員：総務省の締め付けはあるが、継続してできるだけの拡大と新たな品目の育成とリピーターの確保対策を。

[評価：拡大。新たな品目の育成とリピーターの確保対策。]

211 番 地域おこし協力隊設置事業

[質疑、意見なし]

[評価：事業の継続は妥当である。]

※評価対象外：109番、111番、112番、120番、121番、123番、126番、127番、129番、150番、151番、157番、158番、160～164番、168番、170番、172番、173番、177番、181番、183～185番、192番、193番、199番、202番、205番、206番、209番、210番

○委員長：以上で第3回の委員会を終了する。次回は11月20日（火）14時から開催する。